

第3学年A組 道徳科学習指導案

日 時 令和 年 月 日 () 第 校時
生徒数 名 (男子 名, 女子 名, 計 名)
指導者 教諭

- 1 主題名 働くということ 【D-19 生命の尊さ】
- 2 資料名 「エリカー奇跡のいのち」 (『あすを生きる』日本文教出版)
補助資料: 『エリカー奇跡のいのち』 (講談社)

3 指導について

○ ねらいとする価値について

生命を尊ぶことは、かけがえのない生命をいとおしみ、自らもまた多くの生命によって生かされていることに素直に応えようとする心の現れと言える。ここで言う生命は、連続性や有限性を有する生物的・身体的生命に限ることではなく、その関係性や精神性においての社会的・文化的生命、さらには人間の力を超えた畏敬されるべき生命として捉えている。そうした生命のもつ侵し難い尊さが認識されることにより、生命はかけがえのない大切なものであって、決して軽々しく扱われてはならないとする態度が育まれるのである。

(中学校習指導要領解説 特別の教科道徳 第3章 道徳科の内容 第2節 内容項目の指導観点 より)

現在の日本は平和を享受する一方で、幼児虐待や子どもの自殺、凶悪な犯罪が続発している。その中で、自分の生を全うし、他を支えることに価値を見出す生き方をしてほしいと願い、本主題を設定した。

○ 生徒の実態について

学校行事や普段の生活を通して、よくコミュニケーションをとれるようになり、自他を尊重しようとする姿勢が見られるようになった。9月に生命の誕生について考える機会があったが、その際「命はすごい」「親に感謝する」などの感想がみられ、感性の豊かさを感じた。しかし、感動はするが、課題意識は希薄なところがある。今回の授業は、他人事として終わらず、自分の今を見つめ直す視点を大切にして学習をまとめたい。

○ 資料について

この作品が、第二次世界大戦中のドイツにおけるユダヤ人大量虐殺を題材にしたものであることは、挿絵からも一目瞭然である。しかし、単に悲惨さを訴えるだけのものではない。その混乱の最中で、主人公であるエリカは、生まれて間もない赤ちゃんの身で奇跡的に生き延びた。そこには、極限状態におかれた両親が選択した究極の行為と、両親の願いを受け止め、自己の良心に従って行動した育ての親の存在があった。戦後、子や孫をもち、自分の命を未来へつなげたエリカや、エリカを守り育てた人々の心情を想像することで、生徒は命の偶然性、社会的関係性を感じ、命について考えを深めると思われる。

○ 指導にあたって

本文もさることながら、挿絵の色遣いに至るまで、生命の輝きを感じられる絵本なので、あえてすべての挿絵を見せながら授業を進めたいと考えた。最初に母親がエリカを貨物列車から放り投げた絵を見せ、その後本文を読むことで、平常時は殺人ともみられる行為が、実は祈りを伴った母親の崇高な行いであったことに気付かせたい。そして、「お母さまは自分は『死』へ向かいながら、私を『生』へ向かってなげたのです」という言葉の意味を理解させ、その後の主発問につなげたい。

4 本時について

(1) ねらい

エリカの人生を通して、他の人の意見を参考にしながら、命の尊さについて考え、自他の生命を尊重しようという心情をもたせる。

(2) 展開

	学 習 活 動 主な発問(○◎), 学び合い活動(★)	引き出したい生徒の意見	教師の働きかけ(○), 評価(◆)
導 入	1 本時の学習内容を知る ○この絵は何かわかりますか。どう思いますか。 ○この絵で、おかしいところはありませんか。 ○この絵の前のページを見てみましょう。どんな場面かわかりますか。 ○これは、歴史の教科書の1pです。内容を覚えていますか。	・赤ちゃんが投げられている ・何でだろう ・かわいそう ・列車の窓がない ・金網がある。 ・兵隊がいる ・強制的に乗せられている？ ・第二次世界大戦 ・ドイツ軍 ・ユダヤ人居住区 ・強制収容所	○庇護されるべきものが放り出されるという異常な事態に目を向けさせる。 ○通常私たちが利用する列車ではないことに気付かせ、理由を考えさせる。 ○歴史の教科書のページを合わせて見せることで、ユダヤ人の強制収容所に関する学習を想起させる。
／ 展 開	2 資料を読む 3 登場人物の心情を追う ○両親は、貨物列車の中でどんなことを考えていたのでしょうか。 ○女の人、どんな気持ちで赤ちゃんを預かったのでしょうか。	・赤ちゃんは捨てられたのではなく、助けられたのだ ・生き延びてほしい ・このまま一緒に死んだ方がこの子のためではないか ・こんな小さい子を見捨てられない ・親の必死の願いを見て見ぬふりはできない	○本文資料は配付せず、電子黒板で絵本の挿絵を見せながら、指導者が音読する。 ○両親の葛藤と生へのわずかな望みに託した心情を想像させる。 ○身の危険も顧みず、ユダヤ人の赤ちゃんを育てた女の人の心情を想像させる。
／ 終 末	4 道徳的価値について考える ★【学び合い】(フリー) ◎「私」は、孫の顔を見ながら、どんなことを考えているでしょう。	・両親に見せてあげたかった ・自分の命をつないでくれてありがとう。育ててくれてありがとう ・守られた命で、今度は私がこの子を守りたい	◆一つの生命が、たくさんの人の思いに支えられていることに気付くことができたか。(WS：ワークシート)
	5 自己を振り返り、生命について考える ○「いのちがかがやく」とはどういうことでしょうか。 ○あなたのいのちは、かがやいていますか？	・一生懸命生きること ・自分の命を守ること、他人の命を大切にすること ・命をつないでいくこと	◆ねらいとする価値に照らして、自己を振り返っているか。(WS)